

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 19 日 (2021.8.19)

【公表番号】特表 2020-531052 (P2020-531052A)

【公表日】令和 2 年 11 月 5 日 (2020.11.5)

【年通号数】公開・登録公報 2020-045

【出願番号】特願 2020-533351 (P2020-533351)

【国際特許分類】

A 2 4 D 3/04 (2006.01)

A 2 4 D 3/16 (2006.01)

【F I】

A 2 4 D 3/04

A 2 4 D 3/16

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 7 月 7 日 (2021.7.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

加熱されている粒子含有ガス (3) を吸い込むための吸口 (2) を備えた喫煙物品 (1) であって、

前記粒子含有ガス (3) を冷却するための少なくとも 1 つの冷却装置 (4) が含まれていて、前記粒子含有ガス (3) が、吸込み時に、前記冷却装置 (4) を通って流れ、前記冷却装置 (4) が、冷却材料 (5) を有していて、前記冷却装置 (4) による冷却が、前記冷却材料 (5) の吸熱プロセスにより実現されていて、前記吸熱プロセスが、前記加熱されている粒子含有ガス (3) により活性化されており、前記冷却装置が、長いキャリア材料 (7) を有していて、該長いキャリア材料 (7) が、前記冷却材料 (5) を含んでいることを特徴とする、喫煙物品 (1)。

【請求項 2】

前記キャリア材料 (7) が、複数回折り畳まれている、請求項 1 記載の喫煙物品 (1) 。

【請求項 3】

前記冷却材料 (5) が、前記キャリア材料 (7) の表面上に被着されている、請求項 1 または 2 記載の喫煙物品 (1) 。

【請求項 4】

前記吸熱プロセスが、脱着により実現されている、請求項 1 から 3 までのいずれか 1 項 記載の喫煙物品 (1) 。

【請求項 5】

前記吸熱プロセスが、前記冷却材料 (5) の溶融および / または気化により実現されている、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項 記載の喫煙物品 (1) 。

【請求項 6】

前記吸熱プロセスが、無機塩の結晶水の放出により実現されている、請求項 1 から 5 までのいずれか 1 項記載の喫煙物品 (1) 。

【請求項 7】

フィルタエレメント (6) が含まれていて、該フィルタエレメント (6) が、前記粒子

含有ガス（３）の流れ方向で、前記吸口（２）の上流側に配置されていて、前記フィルタエレメント（６）が、前記冷却装置（４）を含んでいる、請求項１から6までのいずれか１項記載の喫煙物品（１）。

【請求項 8】

前記冷却材料（５）が、前記キャリア材料（７）内に導入されている、請求項1から7までのいずれか１項記載の喫煙物品（１）。

【請求項 9】

前記冷却材料（５）が、小さな粒子（８）で前記冷却装置（４）内に導入されている、請求項１から8までのいずれか１項記載の喫煙物品（１）。

【請求項 10】

前記冷却装置（４）が、別個のセグメント（９）として、前記粒子含有ガス（３）の流れ方向で前記吸口（２）の上流側に配置されている、請求項１から9までのいずれか１項記載の喫煙物品（１）。

【請求項 11】

請求項１から10までのいずれか１項記載の喫煙物品（１）において加熱された粒子含有ガス（３）を冷却するための方法であって、

前記粒子含有ガス（３）を、吸込み時に冷却装置（４）を通してガイドし、前記冷却装置（４）が、冷却材料（５）を有していて、前記冷却装置（４）による冷却を、前記冷却材料（５）の吸熱プロセスにより実現し、前記吸熱プロセスを前記加熱された粒子含有ガス（４）により活性化する、ことを特徴とする方法。

【請求項 12】

前記吸熱プロセスを、脱着により実現する、請求項11記載の方法。

【請求項 13】

前記吸熱プロセスを、前記冷却材料（５）の溶融により実現する、請求項11または12記載の方法。

【請求項 14】

前記吸熱プロセスを、無機塩の結晶水の放出により実現する、請求項11から13までのいずれか１項記載の方法。